

【産業・経済】 基本目標9 産業

幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

資源や知恵が活かされ、新しい挑戦や
仕事生まれ、いきいきとした活気が満ちている

恵まれた風土を楽しみ、
にぎわいとなりわいを
生み出す

- ものづくり産業 -

地域に根付いた産業が活性化し、
新たな魅力ある産業が
創出されている

- 起業・複業 -

起業・複業に取り組む人が増え、
関係人口・交流人口の拡大により、
地域が活性化している

目標（2037年に実現する目標数値）

5,500 億円

製造品出荷額等

8 件

企業立地件数
(指定企業数)

20 人

市の支援制度を
活用した新規創業者

10 人

複業人材・
副業人材による
雇用者

- 農林水産業 -

農業・畜産業・水産業・林業が
生産性や収益性の向上を図りながら、
適切に維持管理されている

目標（2037年に実現する目標数値）

6,000 m²

森林供給量

120 ha

間伐面積

11 個

市内のヨモギ
生産者グループ数

82 人

認定農業者および
認定新規就農者数

『産業』の取組

ものづくり産業・起業・複業

- ▶ 企業の立地や新技術・先端設備の導入等の取組等を支援し、地域経済の活性化を図ります。
- ▶ 起業・創業支援体制を強化し、新規創業や新規事業の立ち上げを推進します。
- ▶ 複業人材や副業人材の活用など新たな雇用の取組を支援します。

農林水産業

- ▶ 森林所有者をはじめ、森林組合、滋賀県などの機関と連携を図り、集落単位による境界明確化を進めたり、間伐等の森林整備を進めます。
- ▶ 収益性のある新たな特産品の推進として、歴史に紐づいた作物であるヨモギの産地化を大学などの研究機関や関係機関とともに進めます。
- ▶ 農業の担い手を確保するため、農業潜在層へのアプローチとして農業塾の開講や、関係機関との情報共有を行い、新たな担い手の就農を支援するほか、後継者の育成を図り、農地保全に必要な担い手の維持に努めます。

【暮らしの土台】 基本目標 12

持続可能な都市基盤

幸せが生まれる 2037 年の米原の姿

大切に維持管理された安全で快適な
都市の土台が、安心な暮らしを支えている

まわりの暮らしを
ともに支え合い、
安心を灯し続ける

- 都市計画 -

都市や産業の拠点を中心に、市街化区域が拡大され、人口減少社会においても、安全で快適に暮らし続けている

豊かな自然や歴史文化資源を保全し、公園や既存施設を活用・整備することで、緑と交流の拠点が形成され、心身の健康と生活の質が高まっている

- 景観 -

目標（2037年に実現する目標数値）

97.0%

市内住宅の耐震化率
(2035 年：97%達成に
向けた年次進捗)

372 件

屋外広告物有効許可件数

6 か所

リニューアルに取り組む
都市公園数

- 地域公共交通 -

拠点と地域を結ぶ
公共交通がつながり、
持続可能で快適な
移動手段を選択できている

- 道路・雪寒対策 -

快適・気軽に移動ができる
交通ネットワークが整備され、
安心・安全な暮らしが
できている

- 上下水道 -

上下水道施設の適切な維持管理と
更新が進み、安全な水を
安心して使い、汚水も適切に
処理される暮らしが続いている

目標（2037年に実現する目標数値）

65,000 人

乗合タクシー
利用者数

7,200 人

鉄道利用者数

10.9%

「安心・安全に暮らせ
るまちづくりの推進」
不満足感の改善

82.55%

水道の有収率

『持続可能な都市基盤』の取組

都市計画・景観

- ▶ 民間木造住宅の耐震診断・耐震改修の促進と周知啓発を行います。
- ▶ 景観計画の推進と市民による景観まちづくりの支援を行います。
- ▶ 公園と既存施設の戦略的な活用・整備による緑のネットワーク形成と管理運営を行います。

地域公共交通・道路・雪寒対策・上下水道

- ▶ 乗合タクシー「まいちゃん号」の最適化とサービス改善および新たな移動手段を検討します。
- ▶ 鉄道の維持確保と二次交通（路線バスと乗合タクシー）との連携強化（MaaS の推進）を行います。
- ▶ 円滑で安全・安心な道路環境の整備を行います。また、地域振興のための道路インフラの整備を行います。
- ▶ 水道施設の適切な維持管理や更新を行い、引き続き水の安定供給に努めます。また、水道事業基本計画に基づき、老朽管更新を進めるとともに、計画的な施設整備や維持管理を行います。